

創業120周年に向けて

10年前の2005年に発覚した構造計算書偽装事件いわゆる姉齒事件、あの事件以降、国は法制度を厳格化しましたが、また新たな社会問題として杭偽装事件が発生しました。

これだけ、法整備をしても何故不正が起こるのか？

笑われるかもしれませんが、それは、愛が足りないのだと思います。自分たちがつくる建築物への愛、一緒に仕事をする仲間たちへの愛、そして最も大事な、引き渡して、その建物に住む、使う人々への愛。

事務的に仕事をさせられ、こなすばかりでは、愛のない建築だらけになってしまう。性悪説に立って法制度をがんじがらめに厳格化するよりも、プロがやりがいや誇りを持って仕事に愛を注ぎ込める環境を作ることが非常に大事であり、これこそが現在様々な事柄において問われている問題の解決策に繋がってくるのではないのでしょうか。まずは、建築の適正なコスト、工期が非常に重要なポイントだと思います。

弊社では平成24年度に長期行動計画「ヒノデスピリット真直ぐ家づくり宣言」(裏面に記載)を作成し、公にすることで常に企業倫理や品質の保証を意識し、将来どうあるべきかを模索し続けていきます。

西暦1900から2020 更なる未来へ

企業が持続的に収益を生み出していくためには、競争力の源泉たる人材、知的財産、組織力、お客様とのネットワーク、ブランド力などの知的資産を重視し、企業価値の向上に結びつける「知的資産経営」を実践して行くことが、欠かせない重要なテーマであり、これを実現していく上で重要となるキーワードが「変化への対応」としてのダイバーシティです。企業における「DIVERSITY」ダイバーシティ(多様性)とは、さまざまな違いを尊重して受け入れ、「違い」を積極的に活かすことにより、変化しつづけるビジネス環境や多様化する顧客ニーズに最も効果的に対応し、自社の優位性を創り上げるものとされています。

我々はこのテーマを深く意識し共有するために、創業120周年に向けた企業シンボルを新たに策定し、様々な価値観を柔軟に取り入れ、会社の優位性を作り上げ、実践することにより、更なる「組織のパフォーマンス向上」に取り組んでまいります。



HINODE DIVERSITY
I to LOVE まごころを込めて

①「社会の多様化、複雑化するニーズへの対応」

建物を建てることだけが仕事ではない。

多様化するお客様のニーズに、最も効果的に対応し続けること。

②「コミュニケーション能力の向上」

相手の立場になり物事を考え、行動し、

組織一丸となって企業の能力を最大限発揮させ続けること。

③「伝統と歴史の伝承」

地域への皆様への感謝の気持ちを忘れず、

子供からお年寄りまで親しまれる日の出組であり続けること。

社員共々、来る創業120周年に向けて、社会の多様なニーズへ対応できるよう考え、行動してまいりたいと思います。

結びに、今年は干支で言いますと、丙・申です。丙は、色々なものが明らかになる事を意味し申は、善悪両方の意味において新しい勢力が伸びる意味を表しています。

したがって、2016年は色々な社会現象が明確な形となって表れてくる年であり、その中において、ある程度の反対勢力の抵抗に遭うということを感じた上で、信ずる道をさらに突き進み、大きく伸ばしていく年であるとされています。

我々日の出組は、愛を持ってお客様と接し、様々な声にお応えしていく所存ですので、何卒本年もよろしくお願い申し上げます。

平成28年1月吉日
株式会社 日の出組 代表取締役 東村 正剛

ヒノデスピリット

真直ぐ まっすぐ! 家づくり宣言

真実・真剣・真心・真摯・真理・真価・素直。



一. 真実。(しんじつ)

うそはつきません。

偽りのない「家づくり」をすること。それがすべての根底です。

一. 真剣。(しんけん)

「構造」・「設備」・「意匠」・「機能」の総合力で、思いをカタチにします。

本気!で「家づくり」に取り組みます。

一. 真心。(まごころ)

お客さま目線の配慮はかかしません。そこに住む家族の立場になって「家づくり」をすること、誠意をもって対応することを忘れません。

一. 真摯。(しんし)

「はい!」Yesが本当の答えではないとき、プロフェッショナルとして本物の価値(物事の本質)を伝えること。それがわたしたちの「家づくり」です。

一. 真理。(しんり)

あらゆる事柄で基本をおろそかにせず、正しい物事の筋道を見極め、いかなる場合であっても安全を脅かすような「家づくり」はいたしません。

一. 真価。(しんか)

家とは、家族の命を守り、繋いでゆく場所です。

安心して過ごせる場所をお客さまと一緒に構築すること、「次代へ継ぐ家」をつくること、がわたしたちの「家づくり」です。

一. 素直。(すなお)

思い込まず、既成概念にとらわれない。

人の意見に耳をかたむけ、「ごめんなさい」が自然に言える。このことを大切にします。

思いをカタチ(家)にします。